

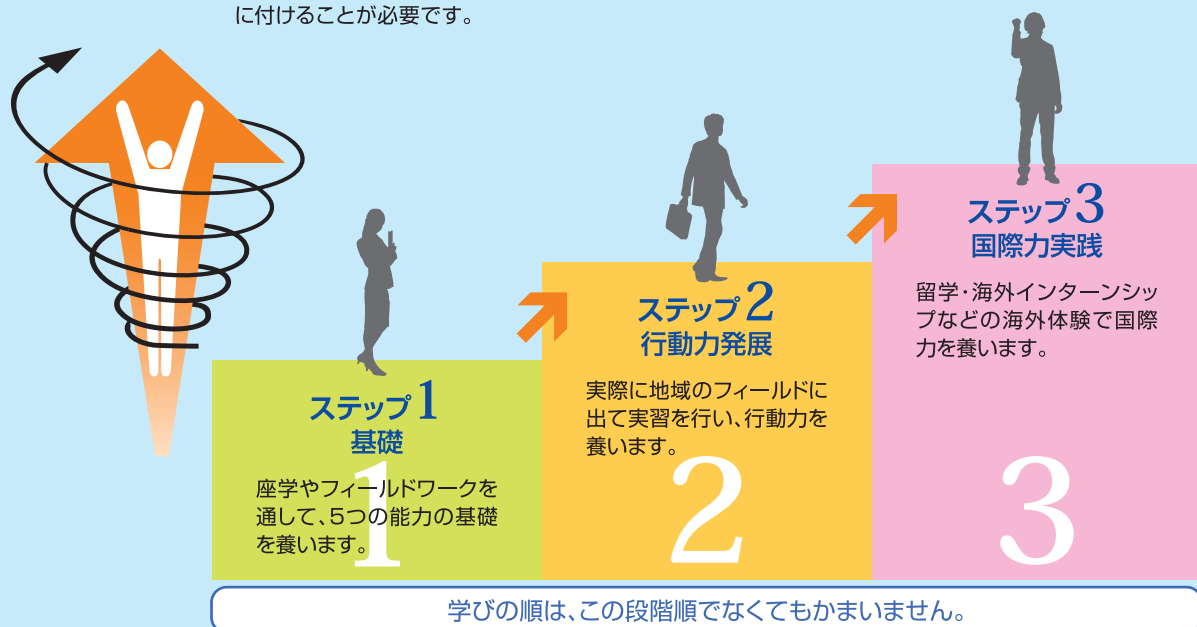
# 学都いしかわ

## グローバル人材育成プログラムがスタートします！

### 概要

「学都いしかわグローバル人材育成プログラム」は、現在、社会で求められている「課題解決型グローバル人材」\*として必要な能力を身に付けるための教育プログラムです。一定のレベルに達することに**修了証**を出し、その**能力を証明**します。修了証は、就職活動の際、獲得した資格の一つとして履歴書等に書き入れることができます。

\*「課題解決型グローバル人材」とは、地球規模(グローバル)の視野を持ちながら地域(ローカル)の課題に主体的に取り組み解決できる人材をいいます。発見力・分析力・展開力・行動力・国際力の5つの能力を身に付けることが必要です。



### 基本ルール

- 本プログラムは、大学コンソーシアム石川とその加盟高等教育機関・団体等が実施する科目や講座・個別教育プログラムを組み合わせた**高等教育機関横断の大型教育プログラム**です。
- 「**基礎**」「**行動力発展**」「**国際力実践**」の**3ステップ**で構成し、各ステップを修了することに、大学コンソーシアム石川より「**修了証**」を発行します。
- 修了は、**年2回**、学生からの「**修了証申請**」を受けて判定します。最終目標であるステップ3を修了した学生には「**学都いしかわグローバルヤングリーダー**」の称号を授与します。
- 本プログラムには、大学コンソーシアム石川加盟高等教育機関の学生(非正規生を含む)ならば**誰でも登録**できます。
- スタンダードリストにある科目・講座・個別プログラムを受講して、5つの能力の向上を目指します。科目・講座・個別プログラムには時間数に応じた**ポイント**が設定され、**そのポイントを一定数集めることが修了要件**の一つです。
- 各ステップ・ブロックの該当科目・講座・個別プログラムは、学都いしかわグローバル人材育成HPおよび大学コンソーシアム石川HPに掲載されます。掲載されていない各高等教育機関独自の科目・講座・教育プログラムであっても、本プログラムの趣旨に合致していれば、該当の科目・講座・個別プログラムとみなし、ポイントを授与します。

### ステップ1 基礎



地域社会でグローバルな人材として活躍するうえで必要な基本的素養(発見力・分析力・展開力・行動力・国際力の基礎)を養います。

#### 修了要件は

- ①基準ポイント(総数12、第1・2・3各ブロックから各3)以上を獲得していること。
- ②大学コンソーシアム石川で開講される科目・講座・個別プログラムから1ポイント以上。

#### 第1ブロック 石川への理解を深めるプログラム

- 地域への理解を深め、主に発見力・分析力・展開力を養う科目・講座・個別プログラム群。

#### 第2ブロック フィールド教育プログラム

- 主に行動力を養う科目・講座・個別プログラム群。
- インターンシップや大学コンソーシアム石川の事業である地域課題研究ゼミナール・地域貢献型学生プロジェクトなどもここに該当します。

#### 第3ブロック 海外体験準備プログラム

- 主に国際力を養う科目・講座・個別プログラム群。
- 各高等教育機関の卒業要件以上の外国語中級科目や海外語学研修もここに該当します。

#### 基本スキル

- フィールドワークの基礎科目群。
- 獲得ポイントは総数に加えることができます。

#### 修了証A

(学都いしかわグローバル人材育成プログラム) ステップ1修了証

### ステップ2 行動力発展



地域社会でグローバルな人材として活躍するうえで必要な能力、とりわけ重要な「行動力」を養います。

#### 修了要件は

- ①ステップ2該当の科目・個別プログラムに参加していること。
- ②ルーブリックによる達成度評価が、全体平均・レベル2.5以上、行動力平均・レベル3.0以上。

該当の科目・個別プログラムは、

第1ステップ・第2ブロック(フィールド教育プログラム)に含まれる科目・個別プログラムのうち、実際に地域に入って30時間以上の実習をし、最後に成果報告会を行うもの。

\***地域課題研究ゼミナール事業**や**地域貢献型学生プロジェクト事業**に採択されたゼミ・サークル活動。及び上記に採択されなかったが、実際に上記の活動を行ったゼミ・サークル活動。

\*本事業で新しい科目・個別プログラムを開発中。詳細は、学都いしかわグローバル人材育成HPおよび大学コンソーシアム石川HPで確認ください。

- 修了証Aの取得が前提です。修了証Aは同時に申請することができます。
- 修了証Bの認定に当たっては、書類審査とともに、**能力確認のための、プログラム担当者等によるレビューや、面接審査**を行います。

#### 修了証B

(学都いしかわグローバル人材育成プログラム) ステップ2修了証

### ステップ3 国際力実践



国際社会でグローバルな人材として活躍するうえで必要な能力、とりわけ国際力を養います。

#### 修了要件は

- ①ステップ3該当の科目・個別プログラムに参加していること。
- ②ルーブリックによる達成度評価が、全体平均・レベル2.8以上、行動力平均・レベル3.0以上、国際力平均・レベル3.0以上。

該当の科目・個別プログラムは、

海外での30時間以上の実習・社会体験等を含み、帰国後に報告会が行われる科目・個別プログラム。

\*各高等教育機関で行われている**派遣留学・私費留学、海外インターンシップ、海外研修**など。

\*石川県による**国連スタディビジット・プログラム**。

\*本事業で新しい科目・個別プログラムを開発中。詳細は、学都いしかわグローバル人材育成HPおよび大学コンソーシアム石川HPで確認ください。

- 修了証A・Bの取得が前提です。修了証A・Bは同時に申請することができます。
- 修了証Cの認定に当たっては、書類審査とともに、**能力確認のための、プログラム担当者等によるレビューや、面接審査**を行います。

#### 修了証C

(学都いしかわグローバル人材育成プログラム) ステップ3修了証

### 本プログラムへの参加には2つの方法があります

- ①**年2回(4月・10月の予定)の登録期間に登録**する
  - 最初からでも、該当科目・講座・個別プログラムのある程度受講した段階でも登録できます。
  - 登録以降は、本プログラムの情報がタイムリーに得られる、eポートフォリオが使える(平成26年度後半からの予定)等の利点があります。
- ②**特例として、修了証申請と同時に登録**する
  - いままでに受講した科目・講座・個別プログラムを集めると修了要件をみたすことがわかった場合の方法です。
  - いままでの自分の学習成果を、能力証明の形で「見える化」して資格にできるのが利点です。

### 修了証申請の方法

- 年2回(5月・11月の予定)の申請期間に、必要書類を揃えて申請**する。修了証A・B・Cの同時申請も可能。
- 申請に必要な書類**は
  - 獲得ポイント表(必須)
  - 所属高等教育機関の成績表もしくは証明(必須)
  - ルーブリックの自己採点表(修了証B・C必須)
  - 学習経過を記述したエッセイ(修了証B・C必須)など。
- 修了証Aは書類審査のみ。修了証B・Cは、獲得能力を判定するため、プログラム担当者等によるレビューや、面接審査**を行います。

本プログラムへの参加登録や修了証申請は大学コンソーシアム石川事務局で行います。各ステップの該当科目・講座・個別プログラムのリストや登録・申請の詳細は、学都いしかわグローバル人材育成HPおよび大学コンソーシアム石川HPで確認ください。

### 「学都いしかわグローバルヤングリーダー」称号授与

### 5つの能力をはかるためのルーブリック

ルーブリックとは、学習結果のパフォーマンスレベル・獲得すべき能力レベルの目安を数段階に分けて記述して、学習達成度を判断する基準を示す一覧表です。本プログラムのルーブリックでは、5つの能力の下位区分が設定され、それぞれにレベルに応じた行動が具体的に示されています。本プログラムでは、獲得した能力(達成度)を、このルーブリックを使って評価します。

### ◎5つの能力と下位区分

5つの力	内容	関心・意欲領域	知識・理解領域	思考・判断領域	技能・表現領域
発見力	地域の課題を発見する力である	好奇心	地域理解	地域思考	情報収集力
分析力	発見した課題を論理的思考と客観的判断に基づいて分析する力である	探求心	分析理論	論理的思考 客観的判断	情報整理力
展開力	地域課題を解決する方策を起案し、展開する力である	創造意欲	行政制度理解 市場理解	システム思考	企画提案力
行動力	地域課題解決に向け、行動を起こし、実現に向けて実践する力である	使命感	行動理論	他者思考	合意形成力 リスク マネジメント
国際力	地域課題解決のプロセスを国際的な現場で実行する力である	地球愛	異文化理解	グローバル思考	異文化適応力 外国語コミュニケーション

### ◎ルーブリックの例：国際力(その他の詳細は学都いしかわグローバル人材育成HPおよび大学コンソーシアム石川HP)

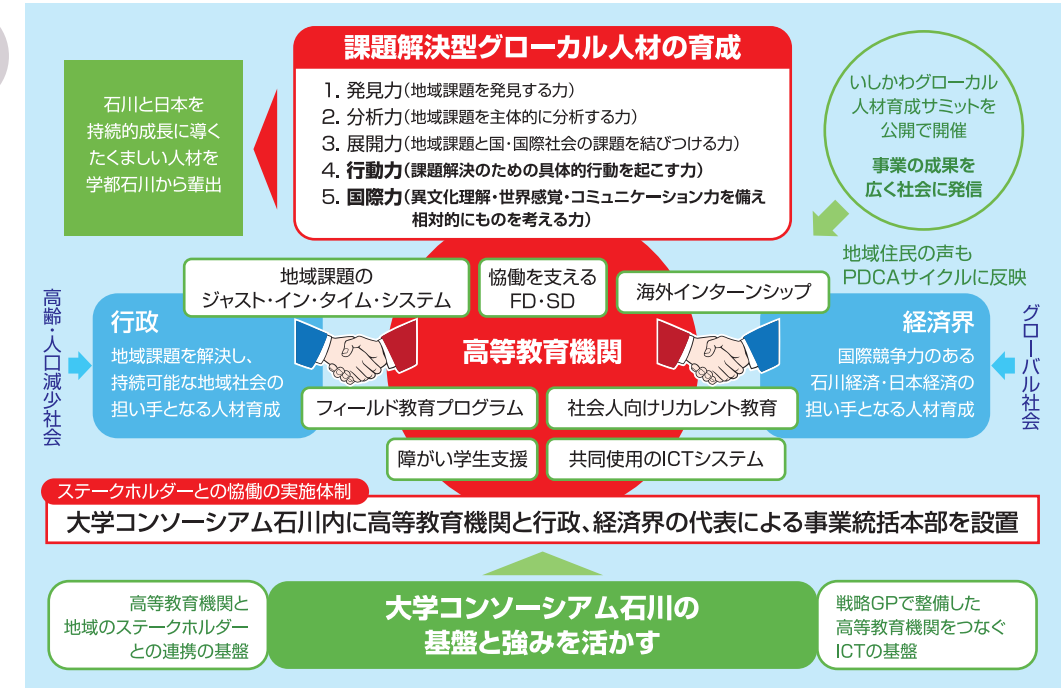
内容	領域	小分類	説明	目標レベル			
				レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
国際力 地域課題解決のプロセスを実行する力である	関心・意欲	地球愛	地球上に暮らすすべての人々に関心を持ち、愛情を持って接することができる	自分と関心や意見が一致する人に対して、関心と愛情を持って接することができる	自分と行動を共にする人に対して、肌の色や国籍を問わず、関心と愛情を持って接することができる	自分と行動を共にする人に対して、肌の色や国籍を問わず、必要に応じて積極的な交流を行うことができる	地球上に暮らすすべての人々に関心を持ち、愛情を持って接し、必要に応じて積極的な交流を行うことができる
			地球上に暮らすすべての人々への文化的差異を理解することができる	自分が関心を持つ国の人々に対して、文化の違いを理解することができる	自分が出会う外国人や訪問国の人々に関心を持ち、その文化的差異を理解することができる	地球上に暮らすあらゆる人々に関心を持ち、世界の多様性を理解し、互いに認め合うことができる	
	思考・判断	グローバル思考	ローカルな視野とグローバルな視野をもって思考し、判断することができる	自分が暮らす視野から思考し、判断することができる	グローバルな視野から思考し、判断するための努力ができる	ローカルな視野とグローバルな視野をもって思考し、判断することができる	ローカルな視野とグローバルな視野をもって思考し、両者を調整する公正な判断を行うことができる
			海外出身者の文化をよく理解し、調和的な行動をとることができる	海外出身者の文化を理解し、自分が得意とする分野において、調和的な行動をとることができる	海外出身者の文化を積極的に理解し、調和的な行動がとれるよう努力ができる	海外出身者の文化を積極的に理解し、相手と相手国を問わず、調和的な行動をとることができる。出身国の異なる者同士の関係について、当事者間の調和的関係構築を支援することができる	
技能・表現	外国語コミュニケーション	外国語を駆使して、コミュニケーションを図ることができる	自分が得意な分野について、外国語で交流することができる	自分が得意な分野以外についても、外国語での交流に努力できる	相手に関心を持つ分野について、外国語での交流に努力できる	外国語によるコミュニケーションを通じて、積極的に交流することができる	

# 学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成システムの構築

目的

石川県内の全高等教育機関と全自治体・主要経済団体等が加盟する「大学コンソーシアム石川」の枠組みを使い、地球規模（グローバル）の視野を持ちながら地域（ローカル）の課題に主体的に取り組み解決できる人材（課題解決型グローバル人材）を育成する継続的なシステムを構築することを目指しています。

概要



課題解決型グローバル人材に必要な5つの力（発見力・分析力・展開力・行動力・国際力）を養成するための教育プログラムやしきみを、地域のステークホルダー※と連携・協働して開発していきます。特に、行動力と国際力の養成に力を入れ、そのしきみを大学コンソーシアム石川のなかに作っていきます。

## 5年間で3つのしきみを構築します。

- **人材育成目標に合った人材を出すための高等教育機関間横断の大型教育プログラムの構築**  
地域連携・企業連携の新たな事業を開発し、学生を学外（地域や海外）へ出して体験教育を促進するしきみを構築します。獲得した能力を「見える化」するため、大学コンソーシアム石川や各大学等で開講される個々の教育プログラムをまとめた「学都いしかわグローバル人材育成プログラム」を構築し、修了証を出していきます。
- **自治体・企業団体等の地域ステークホルダーと高等教育機関の関係を強化し、ステークホルダーからの要望・ニーズを高等教育機関の施策に反映できるしきみの構築**  
大学コンソーシアム石川には地域のステークホルダーも加盟し、その要望・ニーズを高等教育機関に伝えることが可能なしきみがある程度できています。この取組を通して両者の信頼関係を強化し、地域ステークホルダーの要望・ニーズがより的確に高等教育機関の施策に反映できるよう、そのしきみを強化・再構築していきます。
- **大学教育を下支えする、高等教育機関共同の学生・教職員サポート体制（ネットワーク）の構築**  
人材育成を効果的に行うためにはそれを下支えする学生支援・教職員支援のしきみが必要です。この取組を通して、単独の高等教育機関では容易に対処できない各種の学生・教職員サポートを、高等教育機関間の相互補完によって可能にするしきみ（ネットワーク）を構築していきます。

石川県内の高等教育機関の学生ならば誰でも、新たな教育プログラムに参加したり、サポートを受けたりすることを可能にし、県内高等教育機関への進学をより魅力的なものにしていきます。

※ステークホルダーとは、利害関係者の意味。ここでは、大学等が学生を送り出すという点で大学教育の利害関係者となる自治体・企業・NPO・学協会、あるいは地域社会などを指しています。

# ❖ 大学コンソーシアム石川加盟高等教育機関と本選定取組代表校・連携校



大学コンソーシアム石川は石川県内の全高等教育機関、全自治体、主要経済団体等から成る連携組織です。

- ◆ **加盟地方自治体**  
石川県、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、野々市市、川北町、津幡町、内灘町、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町
- ◆ **加盟経済団体**  
石川県商工会議所連合会、石川県商工会連合会、(一社)石川県経営者協会、石川県中小企業団体中央会、(一社)金沢経済同友会、(一社)石川県鉄工機電協会、(社)石川県繊維協会、(一社)石川県食品協会、石川県酒造組合連合会、(一社)石川県情報システム工業会、(公社)金沢青年会議所
- ◆ **加盟国際機関**  
国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット

一般社団法人  
**大学コンソーシアム石川**  
〒920-0962 金沢市広坂2丁目1-1  
TEL 076-223-1633 FAX 076-223-1644  
e-mail: info@ucon-i.jp URL: http://www.ucon-i.jp/

ロゴマークは、University Consortium Ishikawaのイニシャルを端的に使用、「C」の内側に笑顔を配して親しみ、また「U」には変化を加え「↑」とすることで上昇指向と発展を表現しています。

平成24年度 文部科学省「**大学間連携共同教育推進事業**」(地域連携)選定取組(補助予定期間:5年間)  
学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成システムの構築

# 学都いしかわ グローバル人材 育成プログラム

<http://gakuto.ucon-i.jp/> (学都いしかわグローバル人材育成HP)  
<http://www.ucon-i.jp/> (大学コンソーシアム石川HP)



学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成システムの構築  
代表校: **金沢大学**  
連携校: 北陸先端科学技術大学院大学、石川県立大学、石川県立看護大学、  
金沢美術工芸大学、金沢医科大学、金沢学院大学、金沢工業大学、  
金沢星稜大学、金城大学、北陸大学、北陸学院大学、金沢学院短期大学、  
金城大学短期大学部、小松短期大学、金沢星稜大学女子短期大学部、  
北陸学院大学短期大学部、石川工業高等専門学校、金沢工業高等専門学校  
連携コンソーシアム: (一社) 大学コンソーシアム石川

本プログラムは、大学コンソーシアム石川が平成26年度より提供する新たな教育プログラムです。本プログラムの修了証は、その能力を認定するもので、資格として履歴書に書き入れることができます。